



ビリアードを お飲みになる方へ

監修：広島大学病院 高田 昇



病医院・薬局名

発行： **鳥居薬品**
<http://www.torii.co.jp>

お問い合わせ
鳥居薬品HIV領域担当チーム
TEL 03-3231-6878

2005年1月作成

GT3-0501P
VAD TE 001A

はじめに

この冊子はビリアードをお飲みになる方に向けて作成されたものです。ビリアードの特徴や服用方法、飲み忘れた時の対処方法、副作用、服用時の注意事項などが記載されていますので、お飲みになる前にご一読ください。

なお、この冊子の記載内容だけでは十分ではありませんので、担当の医師や看護師、薬剤師などからの説明をよく聞き、指示をしっかりとってください。また、一般に薬の飲み合わせや服用方法などは、医師が患者さんの症状や状態にあわせ個別に決めるため、医師などの指示や説明が冊子の記載内容と異なる場合があります。その際には、医師などの指示や説明を優先してください。

ビリアードについて、わからないことがあれば医師などに相談してください。



この冊子は米国ギリアド・サイエンシズ社で作成された「Answers to Questions about Viread」という患者さん向けの手引書を一部改変して日本語版にしたものです。内容については広島大学病院エイズ医療対策室室長 高田 昇先生の監修を受けています。



目次

はじめに	1
ビリアードはどんな薬？	3
ビリアードの働き	
どのように服用すればいい？	5
ビリアードと他の薬との飲み合わせについて	
ヴァイデックス	
レイアタツ	
飲み忘れてしまったら？	7
ビリアードの副作用は？	8
服用にあたっての注意事項は？	9
B型肝炎ウイルスにかかっているとき	
腎臓に障害があるとき	
骨に異常があるとき	
乳酸アシドーシスの症状があらわれたとき	
肝臓の障害があらわれたとき	
妊娠中の服用については？	11
授乳について	
ほかに気をつけることは？	12
日常生活での注意	
ビリアードの保管方法	
HIV感染症のことをもっと詳しく知りたいときは	13



ビリアードはどんな薬？

HIV感染症の薬で、血液中のHIVウイルス量を減らします。

ビリアードは核酸系逆転写酵素阻害剤と呼ばれるタイプの薬で、**血液中のウイルス量**^{注1)}を減らします。血液中のウイルス量が少なくなると、免疫力が弱まって起こる感染症(日和見感染症^{注2)})にかかりにくくなります。

ビリアードはHIV感染症やエイズを完全に治す薬ではありませんので、服用していても日和見感染症やその他の症状がでないとは限りません。また、長期間服用することによる影響については、現在のところ十分な情報がありません。

注1) HIVのウイルス量：血漿1mL中のウイルスの数、治療開始の目安や抗HIV薬の効果判定の指標になります。通常の検査では、400コピー/mLや50コピー/mLがウイルス量の検出限界で、一般には、ウイルス量を検出限界以下に抑えることが治療の目標となります。

注2) 日和見感染症：免疫が正常な人では問題にならない病原性の弱い微生物によって引き起こされる感染症です。例えば肺炎・ヘルペスウイルス感染症・非定型抗酸菌症(MAC)などがあります。

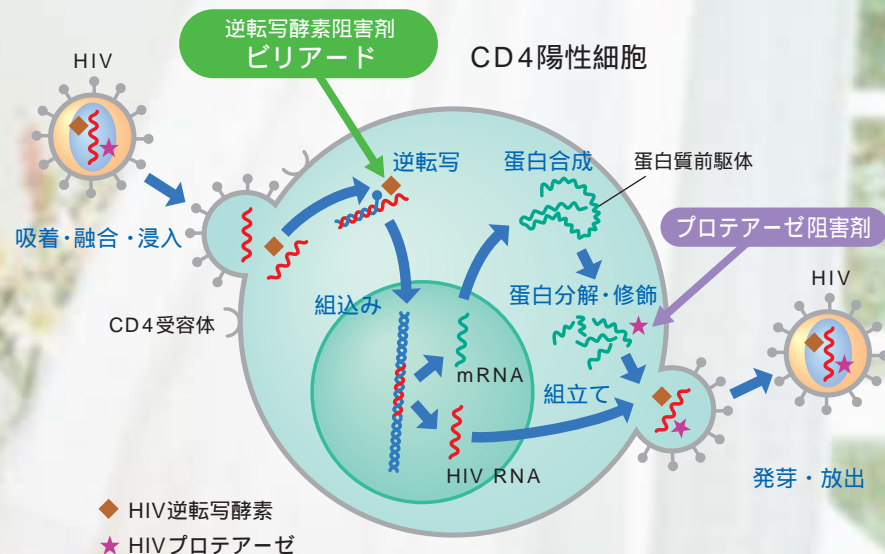
日和見感染症



ビリアードの働き

ビリアードはHIVが体内で増殖するために必要なHIV逆転写酵素^{注3)}と呼ばれる特殊な蛋白質の働きを抑えて、HIVの増殖を防ぎます。

注3) HIV逆転写酵素：HIVが体内で増殖するときに働く酵素の1つで、ウイルスに含まれる特有の酵素です。



抗HIV薬には核酸系逆転写酵素阻害剤のほかに、働き方の異なる非核酸系の逆転写酵素阻害剤やHIVプロテアーゼという酵素の働きを抑えるプロテアーゼ阻害剤があります。HIV感染症の治療では、これらの薬をいくつか合わせて服用するため、ビリアードだけで治療されることはありません。



どのように服用すればいい？

ビリアードは通常、1日1回1錠を服用します。

また、食事の時間に関係なく服用できます。

ビリアードは、下の写真のような薄い青色の錠剤で、1錠中テノホビルDFというビリアードの成分が300mg含まれています。



(実物大)

薬の効き目を維持するためには、**毎日薬を飲みつづける**ことが最も大切です。短い期間でも薬を服用しないでいると、体内のウイルス量が増えたり、薬の効き目が悪くなって、**症状が悪化**することがあります。医師などの指示を正しく守り、ビリアードと他の薬を毎日きちんと服用してください。

決して自分の判断で服用を中止せず、何か問題がある場合には、すぐに病院へ連絡あるいは受診してください。また、ビリアードや他の薬が不足しないように、定期的に受診してください。

MEMO

ビリアードと他の薬との飲み合わせについて

ビリアードには飲み合わせに注意しなければいけない薬があります(相互作用)。そのような薬とビリアードと一緒に服用した場合、副作用が出たり、悪い影響が出る可能性がありますので、現在服用している薬(市販薬や健康食品を含む)をすべて**医師や薬剤師などに報告**してください。

また、以下の抗HIV薬(ヴァイデックスとレイアタツ)とビリアードと一緒に服用する場合には注意が必要です。

① ヴァイデックス

ビリアードとヴァイデックス^{注4)}(一般名：ジダノシン)と一緒に服用すると、体内のヴァイデックスの量が高くなりすぎることがあります。そのため、2つの薬を同時に服用する場合には、ヴァイデックスの服用量を**通常よりも減らす**ことが必要です。

注4)錠剤とカプセルの2種類があります。

② レイアタツ

ビリアードとレイアタツ(一般名：硫酸アタザナビル)と一緒に服用すると、体内のレイアタツの量が低くなり、レイアタツの効き目が悪くなります。そのため、2つの薬を同時に服用する場合には、**ノービア(一般名：リトナビル)も一緒に服用**しなければいけません。



飲み忘れてしまったら？

飲み忘れないことが最も大切ですが...



ビリアードも他の薬も飲み忘れないことが最も大切です。服用のスケジュール表を作るなど工夫して、決まった時間に服用する習慣をつけ、飲み忘れを防ぎましょう。

万一、飲み忘れてしまったら...

気づいたときにできるだけ早く**1回分だけ(1錠のみ)**を服用してください。そして、次からスケジュール通りに服用しましょう。ただし、飲み忘れに気づいたのが次の服用予定時間に近い場合は、次まで飲まずに待って、その後スケジュール通りに**1回分**服用してください。

決して、ビリアードを一度に**2回分(2錠)**以上服用しないでください。

飲み忘れた場合どのように対処すればよいのか、あらかじめ医師や薬剤師などに確認しておくといでしょう。



ビリアードの副作用は？

ビリアードを服用したとき、最もよく現れる副作用は**下痢、吐き気、嘔吐、鼓腸**(お腹にガスがたまること)です。

その他には、**脱力感、腓炎、目まい、息切れ、発疹**があり、血液検査・尿検査などの項目では、**血液中のリン酸値の低下、骨の変化、腎の変化**などもあります。



副作用によっては、服用の中止が必要な場合がありますが、決して自分の判断で服用を中止したり、服用方法を変えたりしないでください。何か体の異常を感じた場合には**すぐに病院へ連絡**あるいは**受診**してください。

なお、ビリアードの臨床試験^{注5)}では、副作用で服用を中止した患者さんは全体の1%以下でした。

ビリアードや他の薬の副作用についてわからないことがあれば、医師や薬剤師などに相談してください。

注5)日本での臨床試験は行われていません

MEMO



服用にあたっての注意事項は？

B型肝炎ウイルスにかかっているとき

B型肝炎ウイルス^{注6)}にかかっている方がピリアードの服用を中止すると、**肝炎の症状が急激に悪化**する場合があります。そのため、服用を中止する場合には、**定期的に検査を受け**、その後の肝炎の状態を確認することになります。

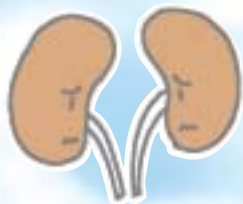
また、ピリアードの服用をはじめの前には、**B型肝炎ウイルスにかかっていないかどうか確認**しておく必要があります。

注6) B型肝炎ウイルス：B型慢性肝炎の原因となるウイルスです。B型肝炎ウイルスは肝臓の細胞内で持続的に増殖しますが、直接細胞を殺すことはありません。このため、健康な方でもB型肝炎ウイルスに感染しているウイルス保有者(キャリア)があり、注意が必要です。日本の感染者数は150万人と推定されています。

腎臓に障害があるとき

腎臓に障害がある方では、ピリアードの体内の量が高くなることがあるため、**ピリアードの服用スケジュールを調整**することがあります。腎臓に障害がある方は、ピリアードを服用する前に、腎機能を含む健康状態を医師などに必ず伝えてください。

また、過去に腎臓の病気をした方や、腎臓に障害をおこすといわれている薬を服用している方は、**定期的に腎臓の検査**をすることがあります。



骨に異常があるとき

HIV感染症によって、あるいはピリアードや他の薬の影響で、**骨に変化**がおきることがあります。すでに骨の病気がある場合は、**骨密度検査**などを行うことがあります。

乳酸アシドーシスの症状があらわれたとき

ピリアードなどの核酸系逆転写酵素阻害剤を服用していると、**血液中の乳酸値が高くなり**、乳酸アシドーシスと呼ばれる状態になる可能性があります。乳酸アシドーシスはとても危険な状態で、命にかかわる場合がありますので、以下のような症状があらわれたら、すぐに病院へ連絡あるいは受診してください。

- むかつき・吐き気
- はげしい胃痛
- 脱力感・疲労感
- 急に具合が悪くなる

肝臓の障害があらわれたとき

ピリアードなどの核酸系逆転写酵素阻害剤を服用していると、肝臓に多量の脂肪がつき(脂肪肝)、**肝臓が大きくなる(肝腫大)**といった障害がおきることがあります。以下のような症状があらわれたら、すぐに病院へ連絡あるいは受診してください。

- 皮膚や白目が黄色い(黄疸)
- 尿の色が以前に比べ濃くなった
- 便の色が以前に比べ白っぽくなった
- 食欲不振が数日間続く
- 胃がむかむかしたり、はげしい胃痛がある





妊娠中の服用については？

ビリアードの妊婦や胎児^{たいじ}に対する影響は不明です。



妊娠中にビリアードを服用するかどうかは、医師と十分に相談してください。妊娠中、あるいは妊娠を希望している方は、ビリアードを服用する前に**医師にそのことを必ず伝えてください。**

授乳について

母から乳児へ感染する可能性があるため、**授乳は避けてください。**乳児の食事方法などについては、医師に相談しましょう。なお、ビリアードの成分が母乳に含まれるか、また乳児に対する影響は不明です。

ほかに気をつけることは？

以下の点を心がけてください。

服用中は定期的に診察を受けてください。また医師の指示もなく、自分の判断で**服用を中止したり、服用方法を変えたりしないでください。**薬を他の人にあげてはいけません。



日常生活での注意

ビリアードや他の薬を服用していても他の人に感染させる可能性がありますので、**安全なセックス**を心がけましょう。

血液・体液の付着した身の回り品(歯ブラシ・かみそり等)を他の人と共用するのは避けましょう。



ビリアードの保管方法

子供の手の届かないところに保管してください。

室温の場所で保存し、極端に高温や低温の場所での保存は避けてください。

服用時に薬を容器から取り出した後は、**キャップを閉めて**保存してください。



